

認知症の人をみんなで支え合うまちづくりに向けて

認知症になっても住み続けられるまちづくりを目指して、10月29日(土)、ふるさと交流圏民センターオルテンシアで、「認知症フォーラム」を開催しました。

平山市長から「認知症の人をみんなで支え合うまちづくり宣言」をしたほか、人形芝居や寸劇を通し、認知症との関わりについて考えました。

会場に詰めかけた400人を超える参加者は、金多豆蔵人形一座による人形芝居や北五歯科医師会などによるコミカルな寸劇を楽しみ、また、寸劇の合間の健生五所川原診療所 津川信彦所長の解説は、大変分かりやすく、とても勉強になったという声が多数ありました。



地域包括支援センターに 認知症初期集中支援チームができました

認知症になっても、住み慣れた地域で尊厳を保ち自分らしい生活を送ることができるよう、認知症の方あるいは認知症が疑われる方と早期に関わる認知症初期集中支援チームができました。

チーム員は、認知症サポート医、保健師、社会福祉士などからなり、支援が必要な方のお宅を直接訪問し、医療機関への受診を勧めたり、生活改善に関する助言を行ったりします。

最近物忘れが激しい、実際にはないものが見えるといった認知症が疑われる症状がご家族などにあつてお困りの方は、一度、地域包括支援センターにご相談下さい。



認知症の人をみんなで支え合う まちづくり宣言

本格的な高齢化社会を迎え、現在、高齢者の7人に1人が認知症であると言われています。

認知症の人を支える側として、あるいは認知症の当事者として、誰もが、認知症に何らかの関わりあいを持つ時代となりました。五所川原市は、認知症の人が、このふるさと五所川原で、尊厳を保ち自分らしい生活を送ることができるよう「認知症の人をみんなで支え合うまちづくり」に力を注ぐことをここに宣言します。

1. よく笑い、よく運動し、食事に気をつけて、認知症になりにくい心と体をつくるよう努めます。

市民の皆さんにお願い……認知症を予防する努力をしましょう。

市の役割……認知症予防事業を充実させます。

1. 周りのことに常に関心を持ち、あれ、なにか変！？と思ったときは、声をかけたり、誰かに相談したりするよう努めます。

市民の皆さんにお願い……異変を感じたら地域包括支援センター等の関係機関に連絡しましょう。

市の役割……徘徊不明者対策、認知症初期集中支援事業を推進します。

1. 認知症は、特別な病気ではなく、わたしたち自身や家族、身近な周囲にも起こりうる病気だということを心にとどめ、認知症の人に対し、常に思いやりを持って接します。

市民の皆さんにお願い……認知症の人に常に優しい言葉をかけてあげてください。

市の役割……認知症に対する正しい知識の普及、権利擁護事業を推進します。

1. 子供から大人まで、あらゆる世代の市民が心をつなげて、認知症の人が生きがいを持って、安心して暮らせるまちをつくりまします。

市民の皆さんにお願い……認知症を正しく理解し、みんなで協力して、認知症の人が安心して暮らせるまちをつくりまします。

市の役割……認知症地域支援推進員による相談窓口の充実や見守り体制の強化、認知症カフェなどの集いの場の提供に努めます。

平成28年10月29日

五所川原市長 平山 誠 敏